

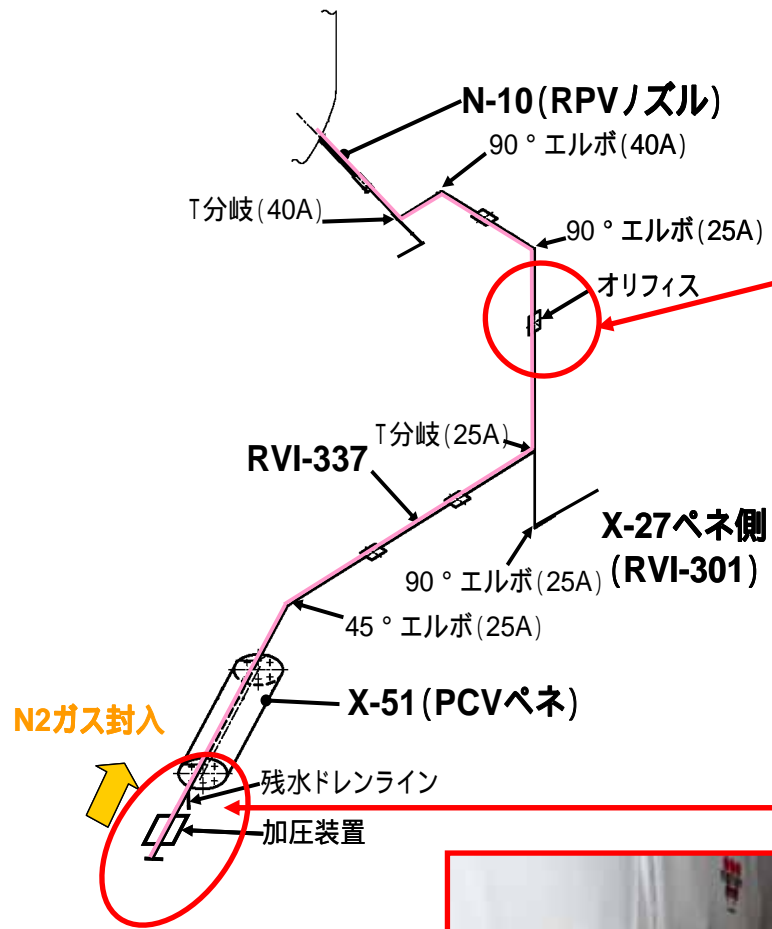
<参考資料>
2012年10月3日
東京電力株式会社

福島第一原子力発電所2号機 原子炉压力容器代替温度計設置について



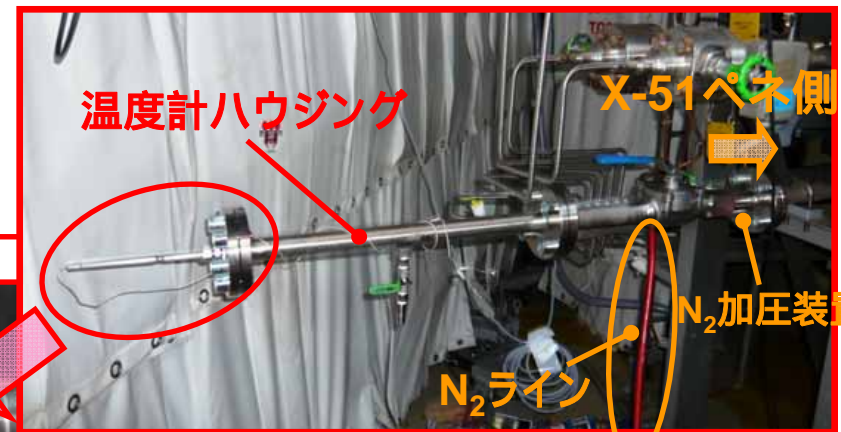
東京電力

1.代替温度計設置状況(写真)



内視鏡による内部確認(10/2)

撮影者:協力企業作業員



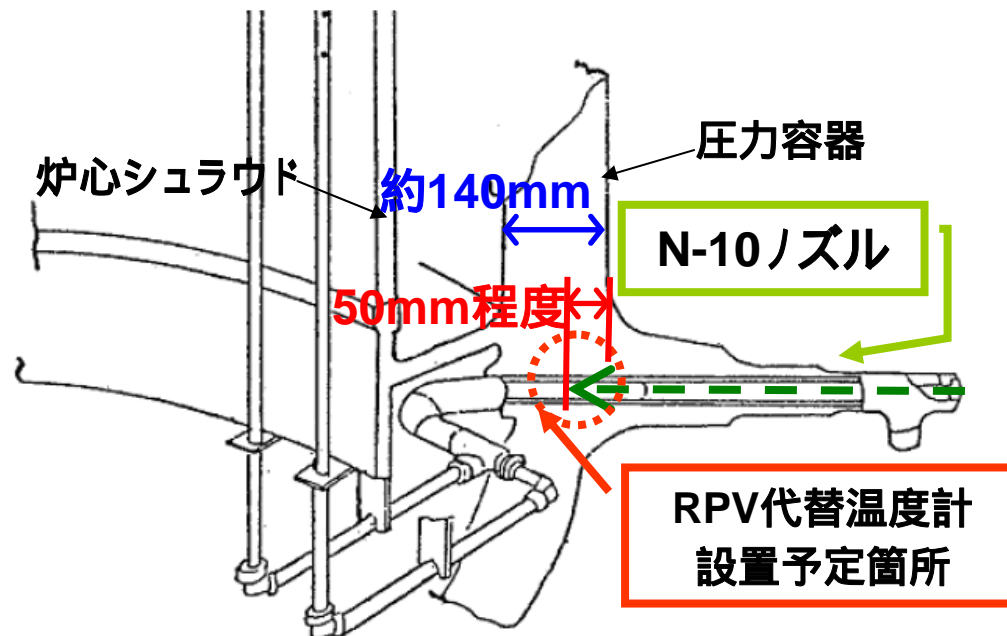
温度計設置状況写真(10/3)

撮影者:当社社員

温度計補償導線

2.原子炉压力容器(RPV)代替温度計の挿入位置について

- RPV代替温度計はN-10ノズル内、**RPV外側壁面より5cm程度内側に設置** 既設RPV底部温度計と同様に、RPV壁面の構造材温度を測定。寸法管理により設置予定箇所まで温度計を挿入するが、挿入作業の誤差(最大 $\pm 5\text{cm}$)を考慮し、RPV外壁面より5cm内側を目標とする。
- RPV壁内に届いていれば金属部に接触していなくても、十分な精度で温度測定可能なことをモックアップ試験で確認している。



3.代替温度計と既設温度計の比較

■設置位置

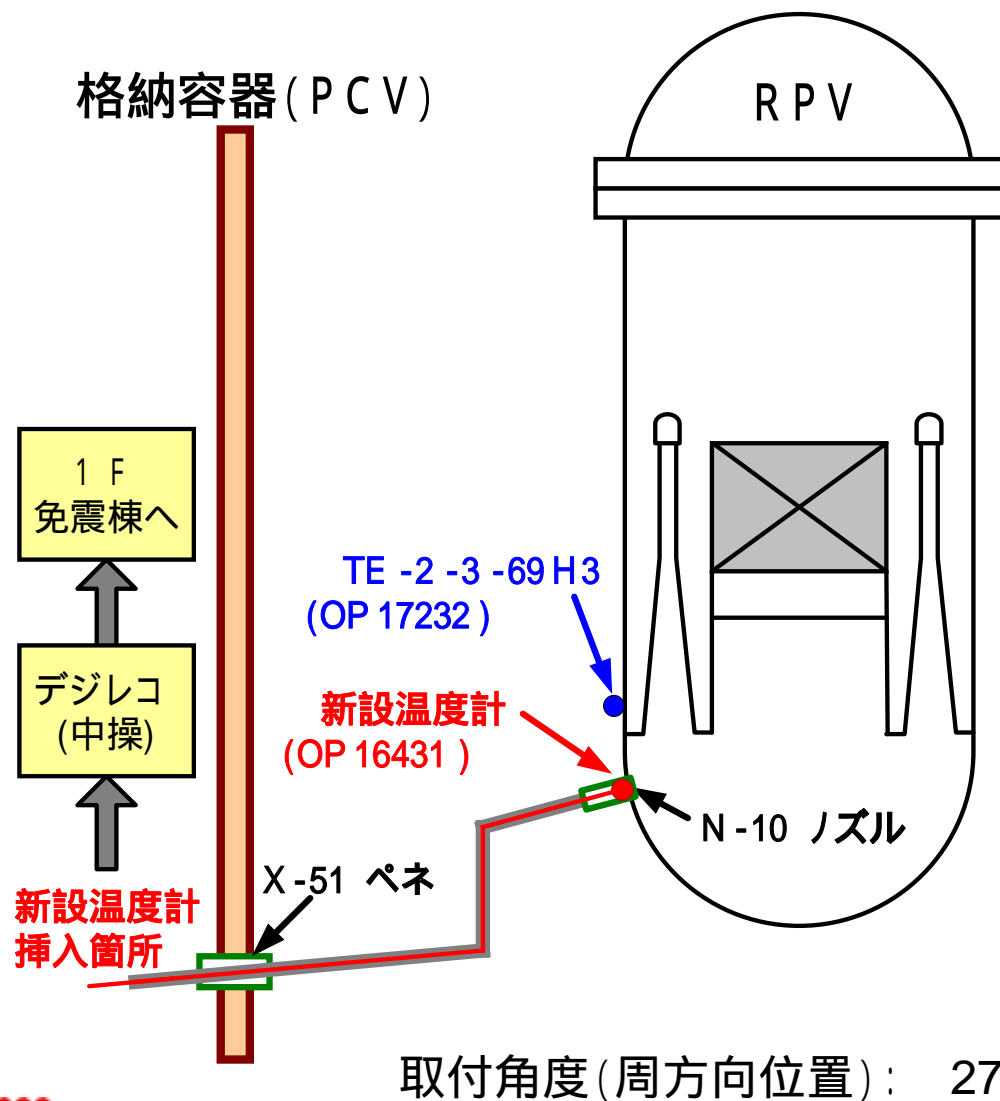


表1. 既設温度計と新設熱電対の指示値

TE-2-3-69H3 (RPV底部ヘッド 上部温度計)	新設温度計
46.1	42.6

10/3 11:00現在

表2. 新設温度計の直流抵抗値

計器名称	挿入前	挿入後
新設温度計	1461.8	1464.6